



多面的機能支払交付金活動事例

三箇牧地区農空間保全協議会



○三箇牧地区の概要

- 1) 総面積 **380ha**(農地率**42%**)
- 2) 農地面積 **103ha**(事業対象)
- 3) 農振農用地面積 **95ha**(事業対象)

本地区は、人口**351,764**人(令和元年6月末現在)を有する高槻市南部に位置し、市街化区域に隣接する、唐崎・西面・三島江・柱本の4集落で構成され、約**99ha**の農振農用地を持つ農空間が広がっている。

三箇牧地区の農業



水 稲



キ ャ ベ ツ



ト マ ト



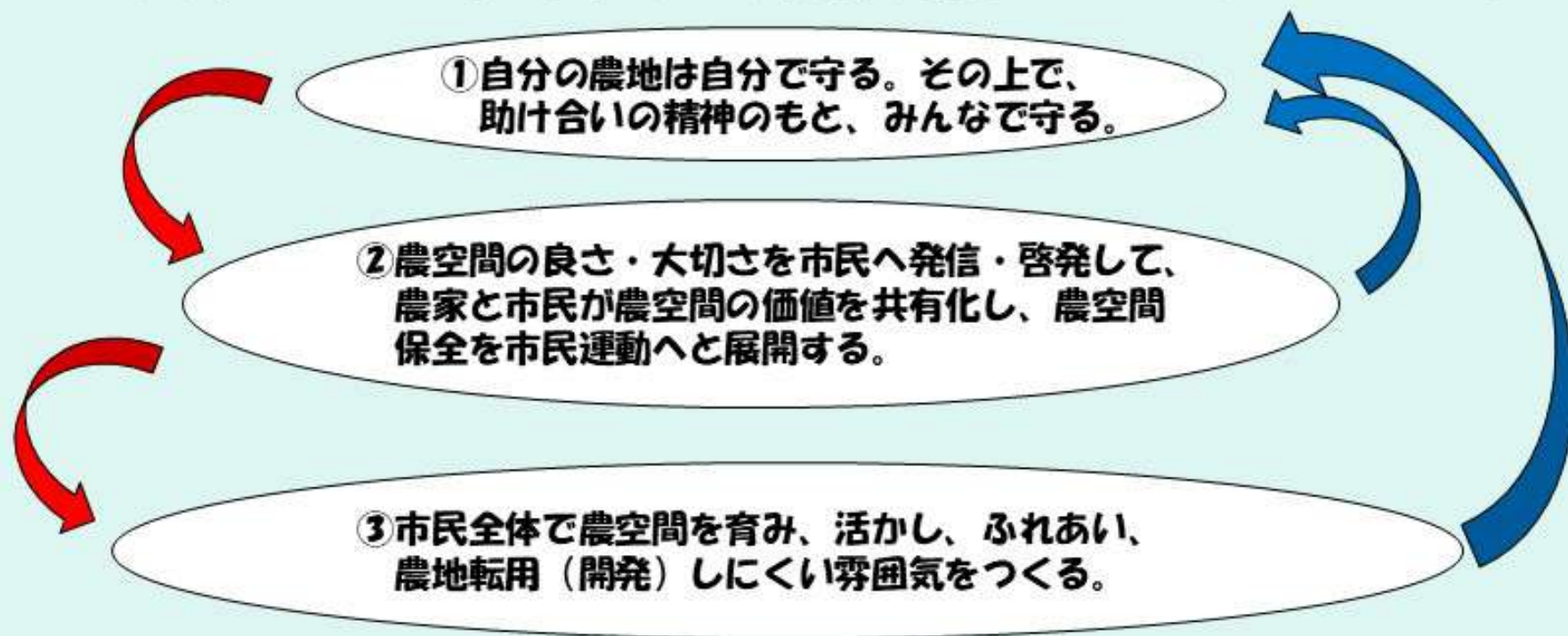
フ ル ー ベ リ ー

各集落の農業実行組合を中心に、水稻をメインにキャベツ、トマト、ブルーベリーの野菜づくりも行っている。

□ 基本目標

基本は、「自分の農地は自分で守る。その上で、助け合いの精神のもと、みんなで守る。」である。これを土台に農空間の良さ・大切さを市民へ発信・啓発して、農家と市民が農空間の価値を共有化し、農空間保全を育み、活かし、ふれあい、農地転用（開発）しにくい雰囲気をつくり出すことをめざす。

この農空間保全の市民活動や農地転用（開発）しにくい雰囲気が、地区の農家に「自分の農地は自分で守る。その上で、助け合いの精神のもと、みんなで守る。」という意識を向上させることにつながる。



具体的な活動

A. 農地維持支払い

- ・ 地区一斉の清掃活動日(5月、7月の2回)を会議で決定
- ・ 内容
 - 水路および農道清掃
 - 水路および農道点検、樋門・ポンプ点検
 - 遊休農地発生防止のための適正管理
 - 水路目地補修

B. 資源向上支払い

- ・ 当該年度の計画は前年度末の総会にあげ承認を得る
- ・ 活動によって、個別会議を開き実施、日程や内容を決める
- ・ 内容
 - レンゲ祭り
 - コスモスロード
 - 花一杯運動
 - チューリップフェスタ、緑化フェスタ
 - 農業体験学習(近隣の小学校と連携)

農地維持支払い



三島江集落水路清掃
(令和 元年 5月19日実施)



柱本集落水路清掃
(令和 元年 5月19日実施)



唐崎集落ポンプ点検
(平成31年 4月25日実施)



西面集落ポンプ点検
(令和元年 5月22日実施)

資源向上支払い

レンゲ祭り(平成31年4月28日)



レンゲ畑 全景



レンゲ畑風景



銭太鼓



押し花のしおりづくり

コスモスロード



コスモス畑 全景



トラクターによる畝立



整地



種まき

チューリップフェスタ



開 会 式



堤 防 清 掃



写 生 大 会



工 作 教 室

緑化フェスタ



開 会 式



堤 防 清 掃



チューリップの球根植え



花 の 植 栽

農業体験学習 (米づくり)



代かき見学



田植え



稲刈



もちつき

(野菜づくり)

ほかに「菜の花栽培」
「水辺の学習」も実施



さつまいもの苗植え



さつまいも畑の草抜き



さつまいも収穫



焼きいも

神安土地改良区の



みなさんへ



Many small handwritten notes and cards are scattered across the green background, containing various messages and signatures.

今後の目標・計画

市街化区域に隣接することから、事業用地など開発需要も高く、農振白地農地を中心にスフロール的な農地転用が進行してきた。この現状を打破するため、農業実行組合、神安土地改良区、JAたかつき、高槻市からなる三箇牧地区農空間保全協議会を設立して対策を検討した。その結果、地区の取込目標として、1) 個、集落からの地区へ、次世代のために地区としての農業組織の体制づくり、2) 実行組合が培ってきた、助け合いの体制を核にしながら、多くの市民が参画する「新たな共」の体制づくりを目指すこととした。

このため、地区の取組の目標を実現する基軸に資源保全活動を位置づけ、維持保全や環境資源向上活動を集落から地区全体の活動とするとともに、都市と農村の交流を更に推進する体制を考える方針とする。